

あとがき

「2040 年問題」という深刻な課題がある。2025 年には、団塊の世代が後期高齢者（75 歳以上）に達し、医療や介護の必要性が急増すると予測されているが、さらに 2040 年には、65 歳以上の高齢者の人口が最大になるとされる。

2018 年 5 月に政府が発表した「2040 年を見据えた社会保障の将来見通し」によると、医療や介護、年金などの社会保障給付費が 190 兆円、2018 年の 1.6 倍になると予測されている。2040 年には、高齢化により世界的に見てもパーキンソン病患者が激増すると予測されているように¹⁾、疾患の構成にも大きな影響が生じ、認知症、脳血管障害、神経変性疾患を患う高齢者はさらに増加するだろう。いまから 20 年後、日本の医療や社会は維持できるのだろうか。医療による対策として重要なのは、健康寿命を伸ばし、要介護率を減らすことである。これはまさに認知症、脳血管障害、神経変性疾患、転倒・骨折・運動器障害の進行を抑制し予防することであり、脳神経内科医の果たす責任はより重いものとなる。

しかし、超高齢者に対する神経学は、少なくとも 3 つの意味で、従来のものとは異なる難しさがある。第 1 に、超高齢者の神経学的診察は難しい。古典的な神経診察が超高齢者を対象とはしていない状況で生まれ発展したことから、私たちは超高齢者の神経診察に慣れていない。例を挙げれば、老年医学の領域で頻用されるフレイルやサルコペニアという所見が、神経診察所見として述べられる場面

は稀であり、神経学に馴染まない印象さえある。今後、小児神経学的診察のように、超高齢者を対象とした神経診察を構築していく必要性を感じる。

第 2 に、超高齢者の病態の理解は難しい。超高齢者では、加齢による脳および運動器の生理的变化に加え、複数の疾患を合併することにより、病態が修飾され、症候や検査所見が複雑化し、診断や重症度の判断が難しくなる。より高度の臨床力が求められる。

第 3 に、超高齢者の治療とケアは難しい。超高齢者では薬剤の代謝が変わること、複数の疾患を合併することなどにより、十分な治療ができないことがある。さらに、そもそもほとんどの臨床試験では、超高齢者が対象に含まれていない。つまり超高齢者に対する治療のエビデンスを新たに築いていく必要がある。また超高齢者では認知機能の低下により、治療やケアに対する自己決定能力が十分でない場面が推測され、臨床倫理的に適切に対応する必要がある。

以上のように、超高齢者に対する医療を行い、「2040 年問題」を克服するために、私たちはこれから多くのことを学ぶ必要がある。その意味でも、「超高齢期の精神神経疾患を診る」という本特集は、現状を考え、今後の課題を見据えるうえで重要な示唆を与えるものとなったと思う。

(下畑享良)

文献

- 1) Dorsey ER, Bloem BR: The Parkinson pandemic: a call to action. JAMA Neurol **75**: 9-10, 2018

編集顧問		
生田 房弘	石塚 典生	
糸山 泰人	内山真一郎	
大友 英一	梶 龍兒	
河村 満	桑原 聡	
高坂 新一	作田 学	
杉田 秀夫	辻 省次	
寺本 明	中里 洋一	
中込 忠好	彦坂 興秀	
平山 恵造	藤澤浩四郎	
真柳 佳昭	水澤 英洋	
水野 美邦	森 啓	
柳澤 信夫		

編集委員		
神田 隆 (編集主幹)		
酒井 邦嘉	下畑 享良	
高尾 昌樹	三村 将	
虫明 元		

編集同人		
入来 篤史	岩田 淳	
宇川 義一	内原 俊記	
大隅 典子	岡部 繁男	
木村 和美	久保 義弘	
栗栖 薫	小林 靖	
斉藤 延人	砂田 芳秀	
高橋 良輔	瀧山 嘉久	
武田 伸一	千葉 厚郎	
平田 幸一	寶金 清博	
星 英司	星野 幹雄	
本田 学	松野 彰	
	(五十音順)	

オンライン投稿
ID : brain PW : nerve

本誌は MEDLINE に
収載されており、掲載論文は
PubMed で検索可能です。

BRAIN and NERVE 第 72 巻第 12 号
2020 年 12 月 1 日発行 (毎月 1 回 1 日発行)
定価 : 本体 2,700 円 + 税 (送料実費)
2020 年年間購読料 (送料弊社負担・本体価格)
冊子版 34,080 円
電子版 / 個人 34,080 円
冊子 + 電子版 / 個人 39,080 円

ご購入に関するお問い合わせ先 (販売部直通)
TEL 03-3817-5659 FAX 03-3815-7804

印刷所
(株) アイワード TEL 011-241-9341

広告申込
(株) ハイブリッジエージェンシー TEL 03-3814-0089

◆本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。

◆本誌を無断で複製する行為 (複写、スキャン、デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者などの第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構委託出版物〉
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、その都度事前に出版者著作権管理機構 (TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

◆「BRAIN and NERVE」は株式会社医学書院の登録商標です。

発行 株式会社医学書院
代表者 金原 俊

〒113-8719
東京都文京区本郷 1-28-23
編集室直通
TEL 03-3817-5701
FAX 03-3815-7802
E-mail bn@igaku-shoin.co.jp
http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn
担当 : 小路・小段・前野

Published by IGAKU-SHOIN
Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku,
Tokyo ©2020, Printed in Japan